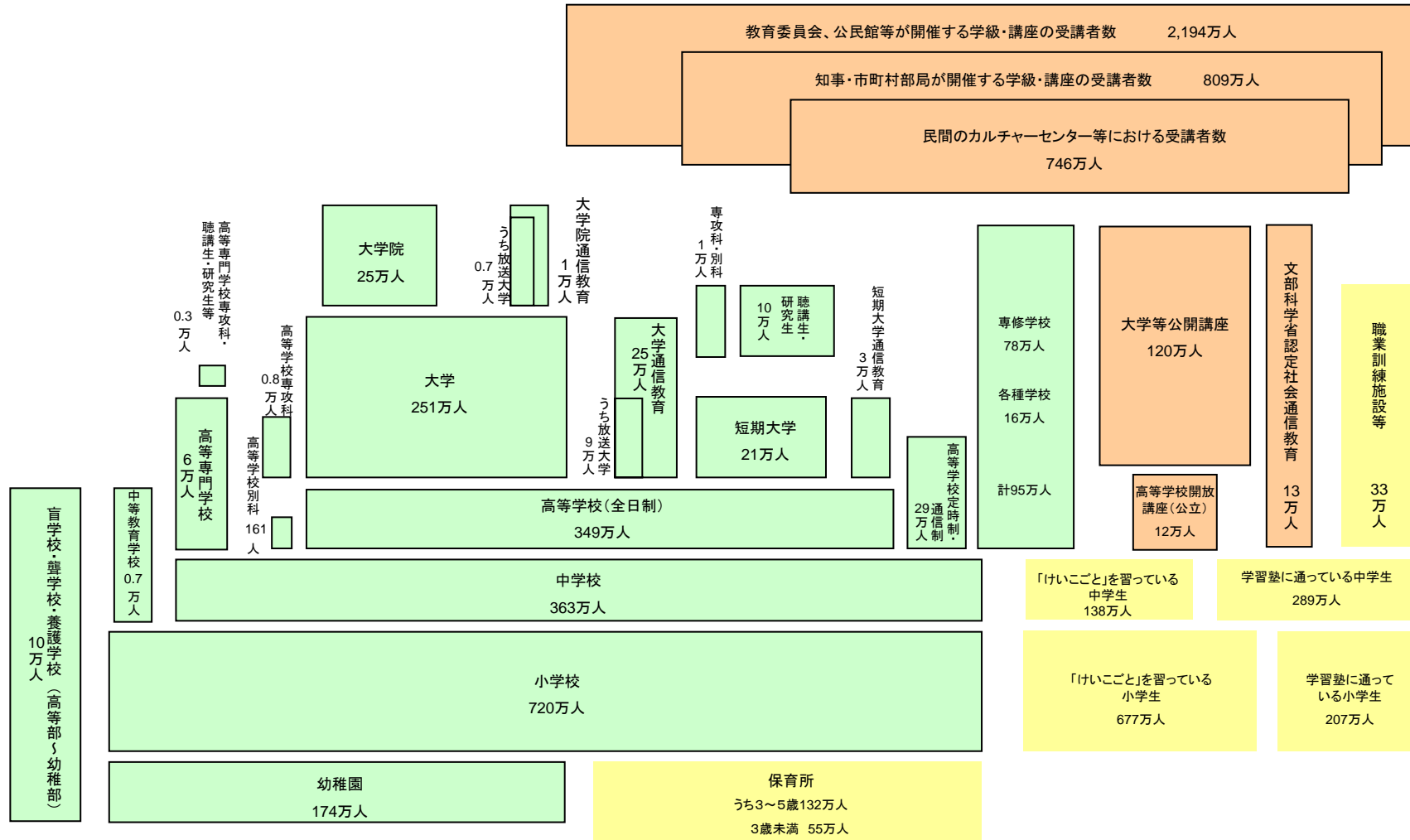


学習人口の現状



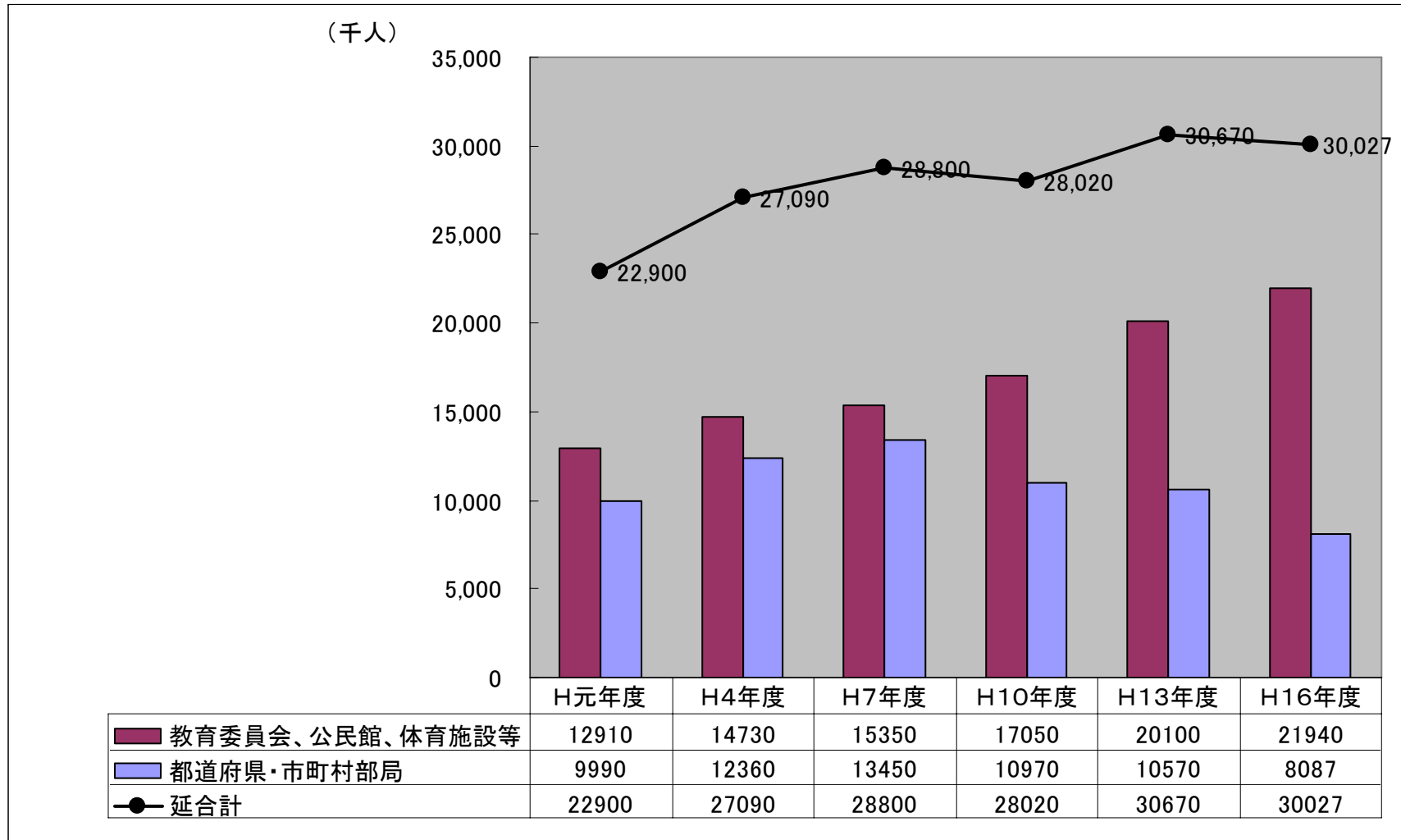
社会教育施設利用者（年間延べ数）

- ◆公民館（類似施設を含む）・・・2億3,311万人
- ◆青少年教育施設・・・2,061万人
- ◆社会体育施設・・・4億6,662万人
- ◆博物館（類似施設を含む）・・・2億6,633万人
- ◆女性教育施設・・・277万人
- ◆民間体育施設・・・1億5,330万人
- ◆図書館・・・1億6,133万人

資料：文部科学省「学校基本調査」（平成17年度）、「社会教育調査」（平成17年度）、「平成5年度学習塾等に関する実態調査」ほか

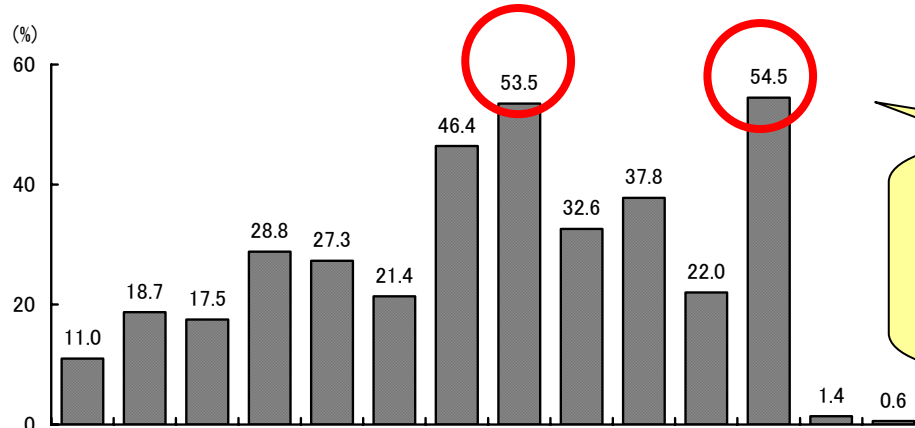
生涯学習人口の推移

生涯学習人口は増加傾向、延べ3千万人にのぼる



資料：文部科学省「社会教育調査」

学習活動を行う理由



「知識や技術を高められるから」(53.5%)、
「人生を豊かにできるから」(54.5%)、との回答が多い。

		家庭生活に役立つから	社会に貢献できるから	資格取得に役立つから	老化防止になるから	健康に役立つから	今の仕事や将来の仕事に役立つから	余暇を楽しく過ごせるから	知識や技術を高められるから	ストレスの解消になるから	人間関係を広げることのできるから	地域や社会との関わりが深められるから	人生を豊かにできるから	その他	とくにない
全	体 (n=772)	11.0	18.7	17.5	28.8	27.3	21.4	46.4	53.5	32.6	37.8	22.0	54.5	1.4	0.6
性別	男性 (n=388)	10.3	21.9	21.4	28.6	27.3	26.5	38.7	55.7	25.3	33.2	21.4	46.1	1.0	0.6
	女性 (n=384)	11.7	15.4	13.5	28.9	27.3	16.1	54.2	51.3	40.1	42.4	22.7	63.0	1.4	0.6
年代別	10代 (n=74)	13.5	13.5	24.3	1.4	14.9	29.7	32.4	64.9	24.3	32.4	9.5	37.7	1.4	4.1
	20代 (n=114)	14.0	14.9	40.4	2.6	15.8	36.8	37.7	57.9	36.8	37.7	11.4	50.0	1.8	0.9
	30代 (n=95)	9.5	9.5	31.6	5.3	18.9	26.3	34.7	51.6	32.6	31.6	10.6	41.1	2.1	0.0
	40代 (n=102)	11.8	8.8	19.6	17.6	20.6	26.5	48.0	51.0	37.3	32.4	14.7	50.0	1.0	0.0
	50代 (n=116)	9.5	14.7	11.2	31.0	22.4	25.9	47.4	58.6	34.5	37.1	19.0	64.7	1.7	0.9
	団塊世代(56~58歳) (n=29)	3.4	24.1	3.4	31.0	20.7	24.1	44.8	72.4	27.6	31.0	17.2	69.0	0.0	0.0
60代以上 (n=271)	10.0	30.3	3.0	58.7	43.2	7.0	56.8	48.0	30.6	44.3	37.6	63.1	0.4	0.0	

団塊世代は「知識や技術を高められるから」(72.4%)、「人生を豊かにできるから」(69.0%)と他の世代に比べて意識が高い。

他の世代と比べ、団塊世代の自己啓発意識は高い

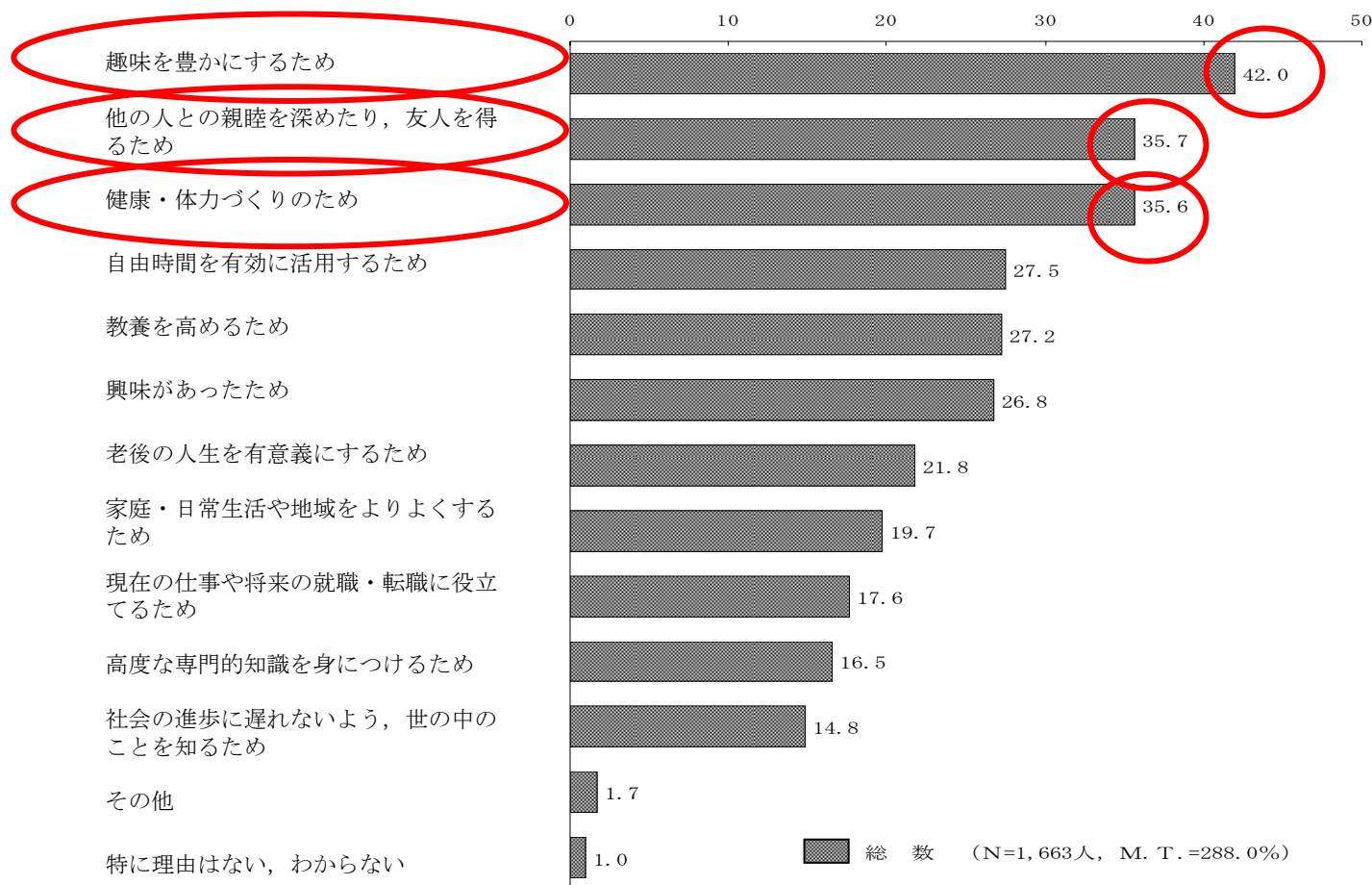
業別	雇用者(パートタイム) (n=71)	専業主婦(夫) (n=162)	学生 (n=97)	無職 (n=111)
理由	14.1	18.3	16.9	25.4
	35.2	21.1	53.5	46.5
	53.5	43.7	23.9	60.6
	2.8	0.0	0.0	0.0
	14.8	16.7	4.9	41.4
	29.6	3.7	60.5	46.3
	39.5	46.9	33.3	69.1
	1.2	0.0	0.0	0.0
	15.5	16.5	34.0	2.1
	16.5	30.9	33.0	61.9
	21.6	32.0	8.2	39.2
	3.1	3.1	0.0	0.0
	12.6	29.7	5.4	57.7
	47.7	5.4	55.9	58.6
	29.7	39.6	37.8	64.0
	0.0	0.0	0.0	0.0

資料: 文部科学省委託「学習活動やスポーツ、文化活動等に係るニーズと社会教育施設等に関する調査」(平成18年)

生涯学習をしている理由

「趣味」、「健康・体力づくり」、又は、「人間関係の充実」のため生涯学習を実施している割合が高い

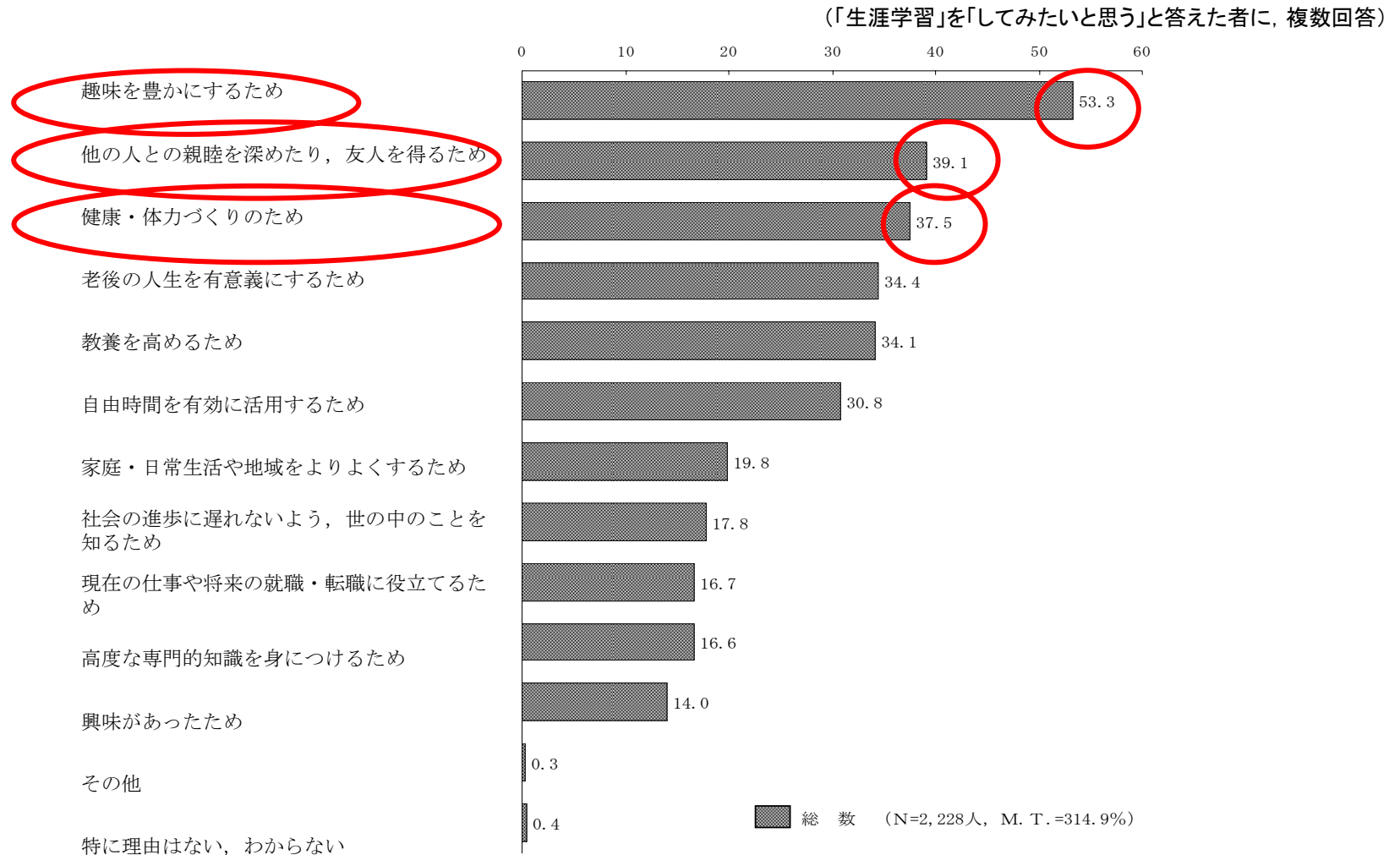
(「生涯学習」を「したことがある」とする者に、複数回答)



資料:内閣府「生涯学習に関する世論調査」(平成17年)

生涯学習をしてみたい理由

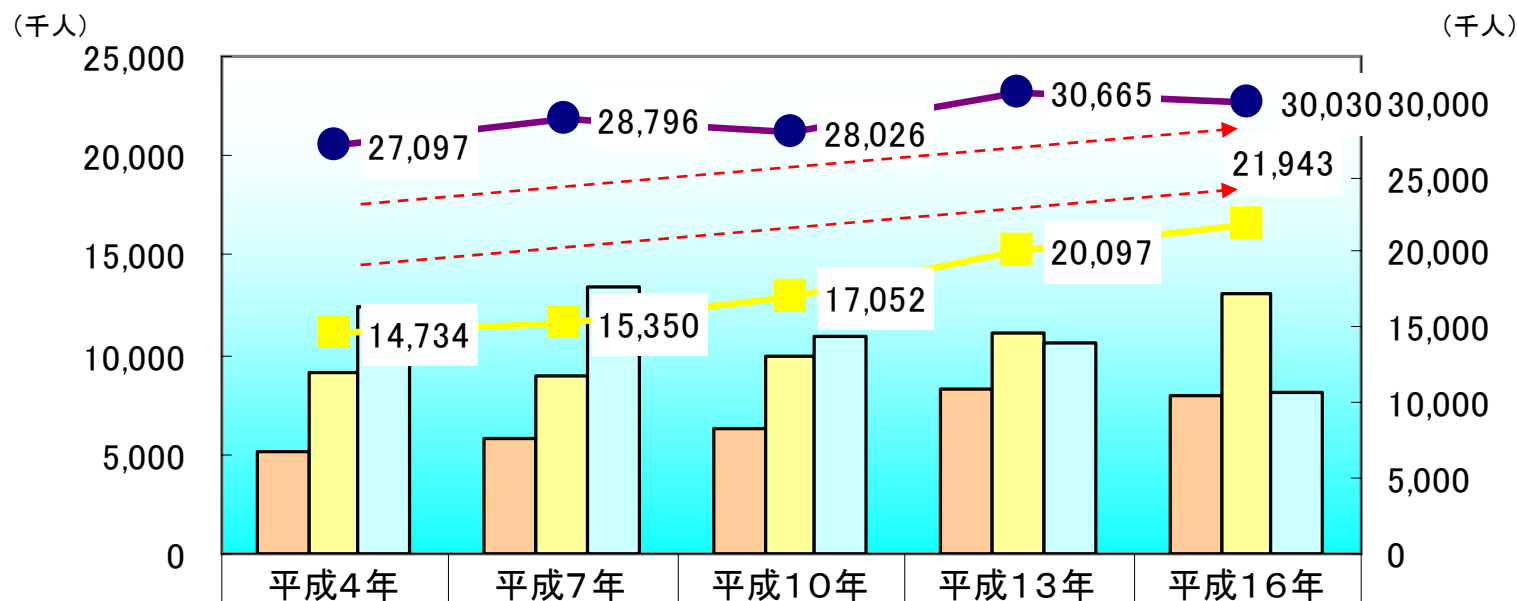
趣味、健康・体力のため、および人間関係の充実のために学習をしたいという割合が高い。



資料:内閣府「生涯学習に関する世論調査」(平成17年)

学級・講座の受講者数の推移

公民館等における学級・講座の受講者数は増加傾向



資料: 文部科学省「社会教育調査」

※ 小計の内訳: 教育委員会、公民館、青少年教育施設、女性教育施設が開設する学級・講座の受講者数の合計

合計の内訳: 小計+都道府県・市町村部局が開設する学級・講座の受講者数の合計

学習活動に取り組んでいる主な場所、 学習に役立っていると感じている主な場所

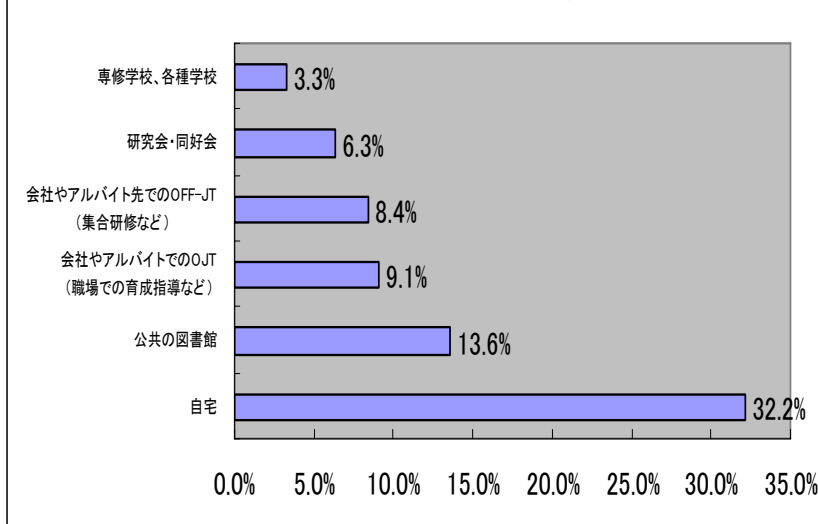
学習活動を実際に行っている場所は、「自宅」がもっとも多い。また、役立っている学習方法として、インターネットをあげる比率が高く、かつ学習者の期待が大きい。

○「自宅」で学習活動を行っている比率がもっとも高く(32.2%)、「50代以上」「自営業・会社・団体の経営者・役員」「派遣社員」の比率が高い。

○学習活動を行っている比率が高いのは「自宅」の次に、「公共の図書館」(13.6%)で、「学生」の利用率が高い。

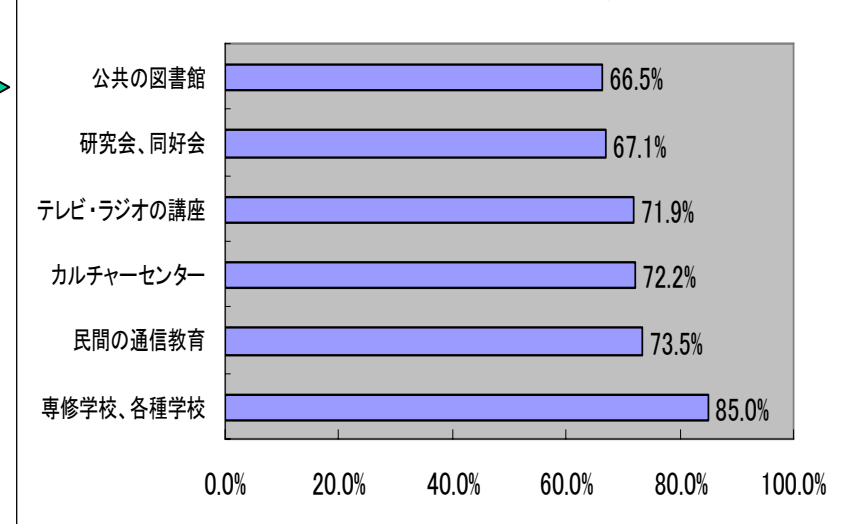
学習活動を実際に行っている人が役立っていると思う場所

学習活動に取り組んでいる主な場所



学習活動に取り組んでいる主な場所

学習に役立っていると感じている主な場所

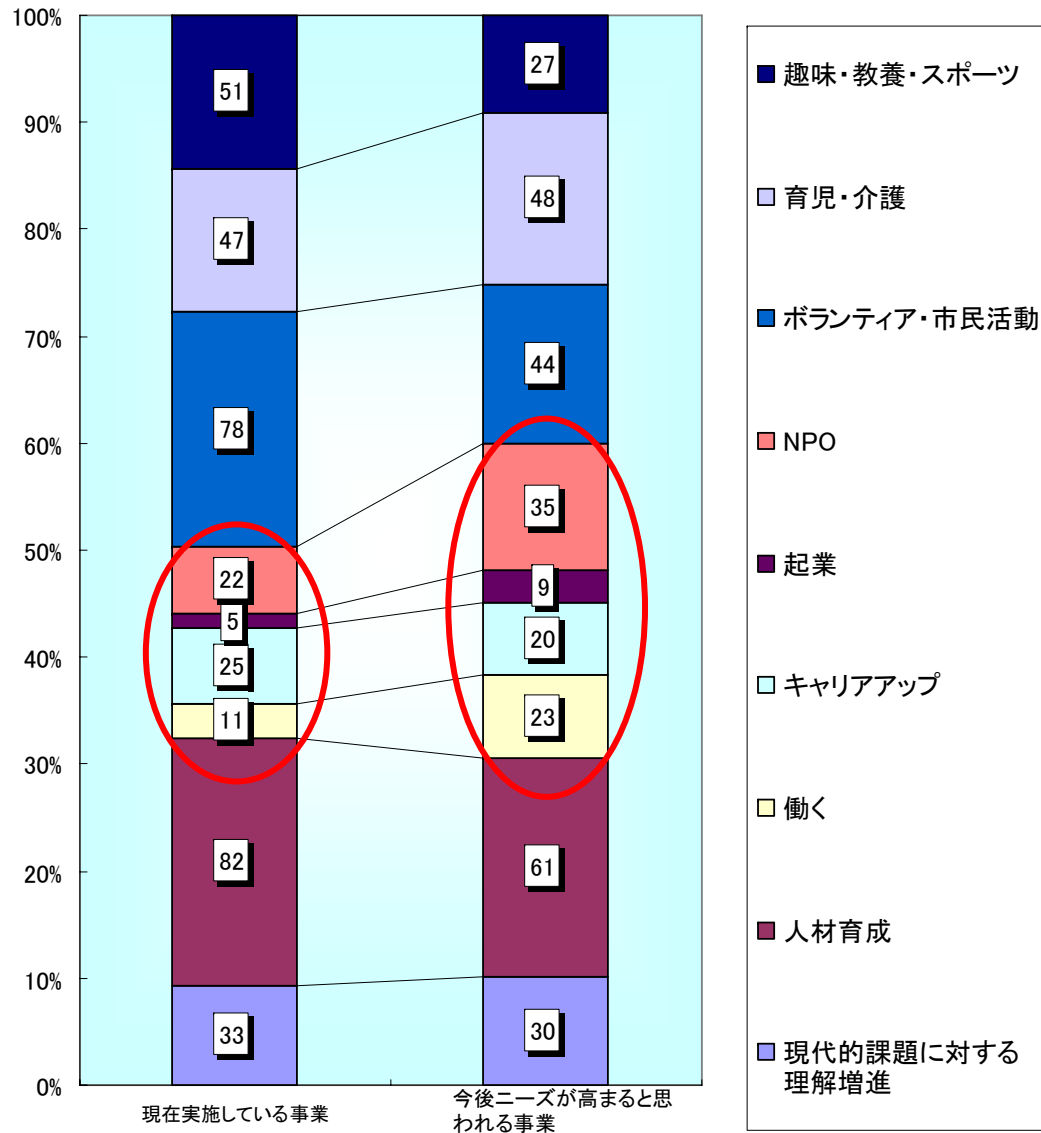


学習に役立っていると感じている主な場所

資料：文部科学省委託「学習活動の促進に関する実態調査」(平成17年度)

生涯学習推進センターで実施されている事業

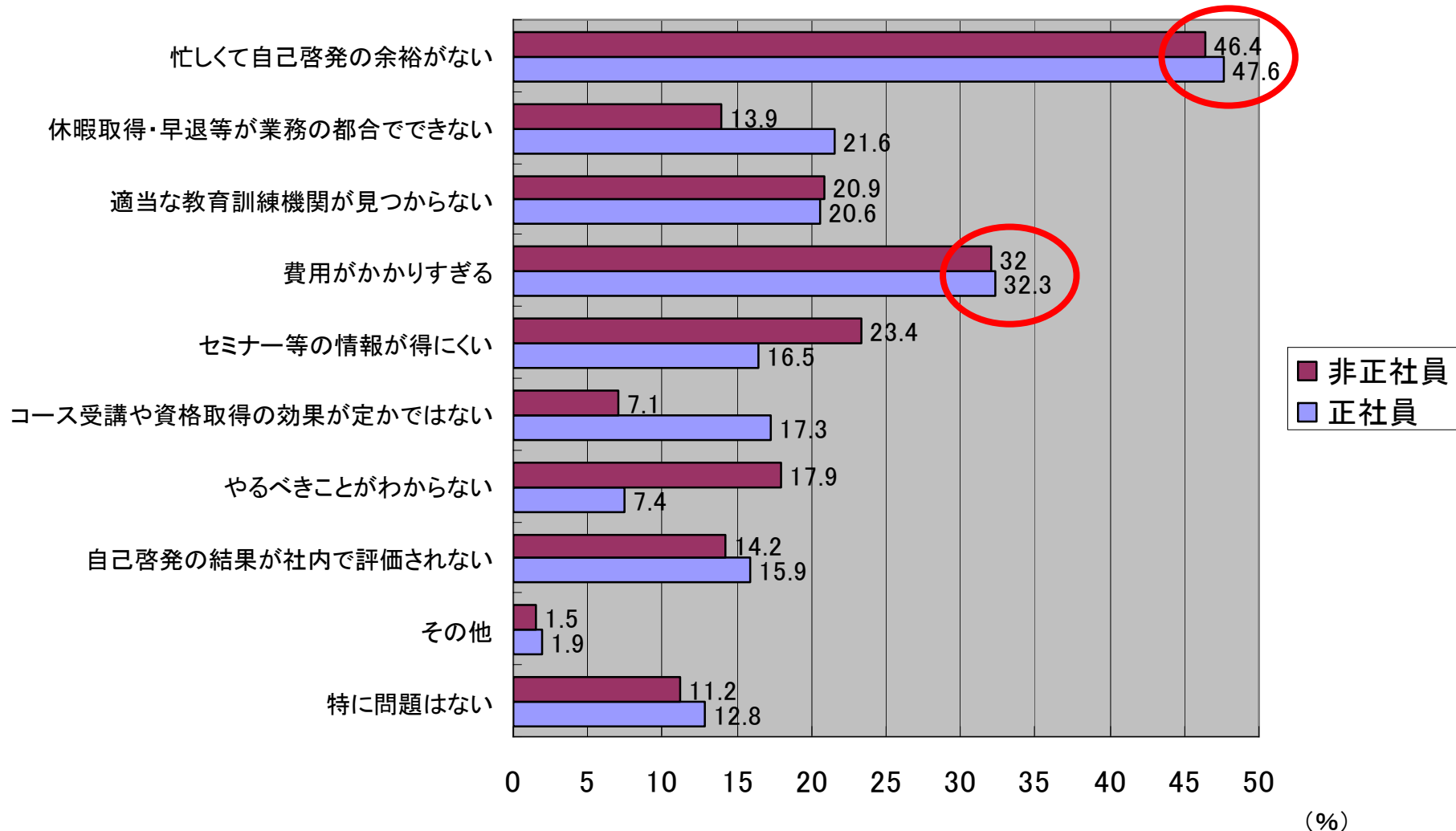
「NPO」、「起業」、「キャリアアップ」、「働く」ことに関する事業が、今後ニーズが高まると思われる事業として認識。



資料：文部科学省「生涯学習推進施策等に関する調査」(平成18年)

学習の制約要因

「忙しくて自己啓発の余裕がない」、「費用がかかりすぎる」の比率が高い。



資料:厚生労働省「能力開発基本調査」(平成17年度)

企業従業員の自己啓発の手段

正社員、非正社員ともにラジオ、テレビ、専門書、インターネットなどによる自己学習比率が高い。

